

# 「はじめての介護セミナー」

2023/11/9 ハローワーク名古屋東

## 介護業界の仕事について

～将来性、魅力、待遇など～



公益財団法人 介護労働安定センター 愛知支部

# 本日は話したいこと

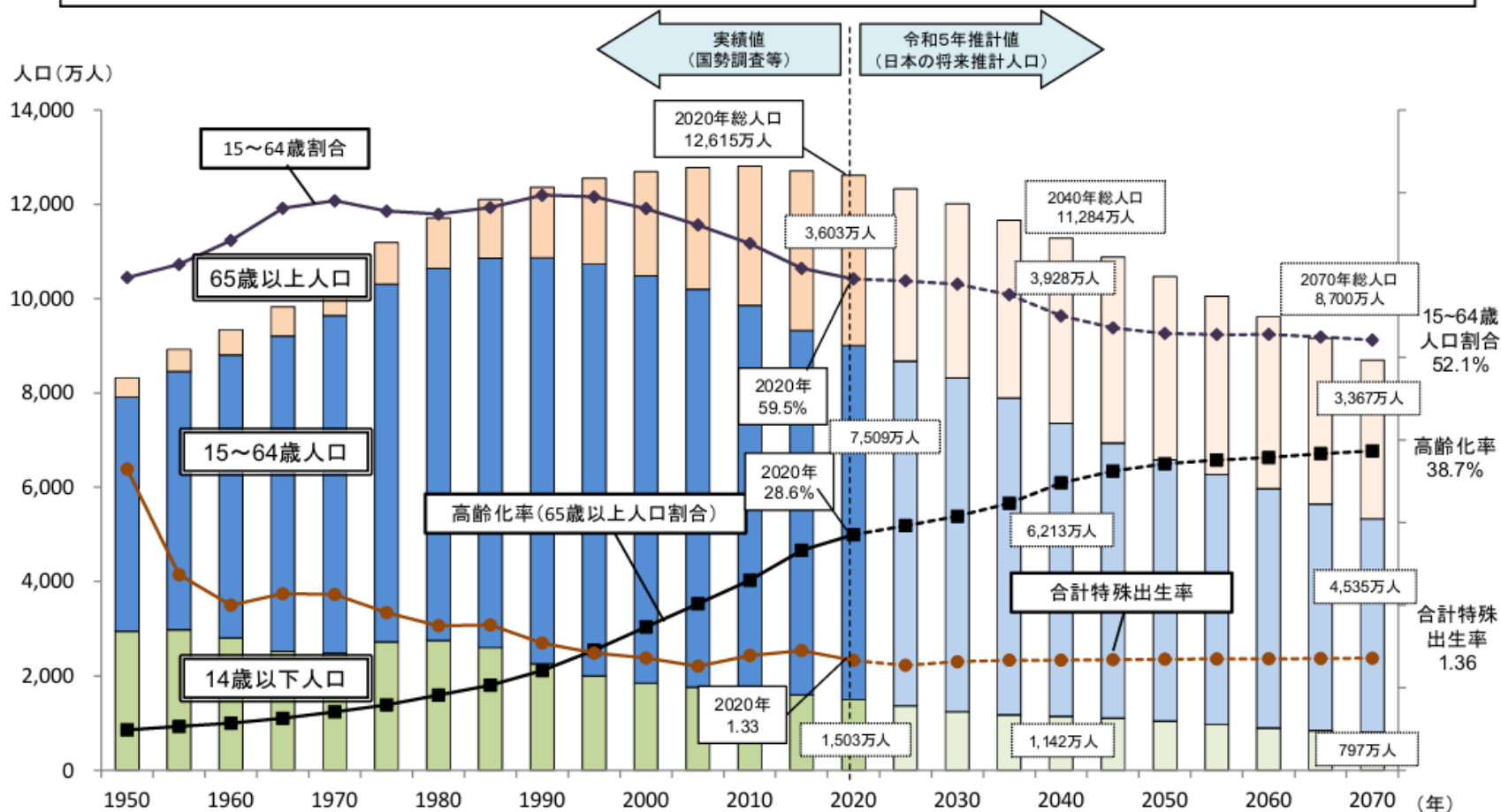
- 1 介護業界・介護職の将来性
- 2 介護の仕事の種類、関係する資格
- 3 脱「3 K」の実態、方向性
- 4 介護の仕事の魅力・やりがい

# 1 介護業界・介護職の将来性

## ① 人口推移から

### 日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「(出生中位(死亡中位)推計)」

2008年をピークに日本の人口は減少傾向。

その反面、**65歳以上の高齢者数は増加し続けている。**

高齢者が増えれば、介護サービス受給者も増えることが予測される。

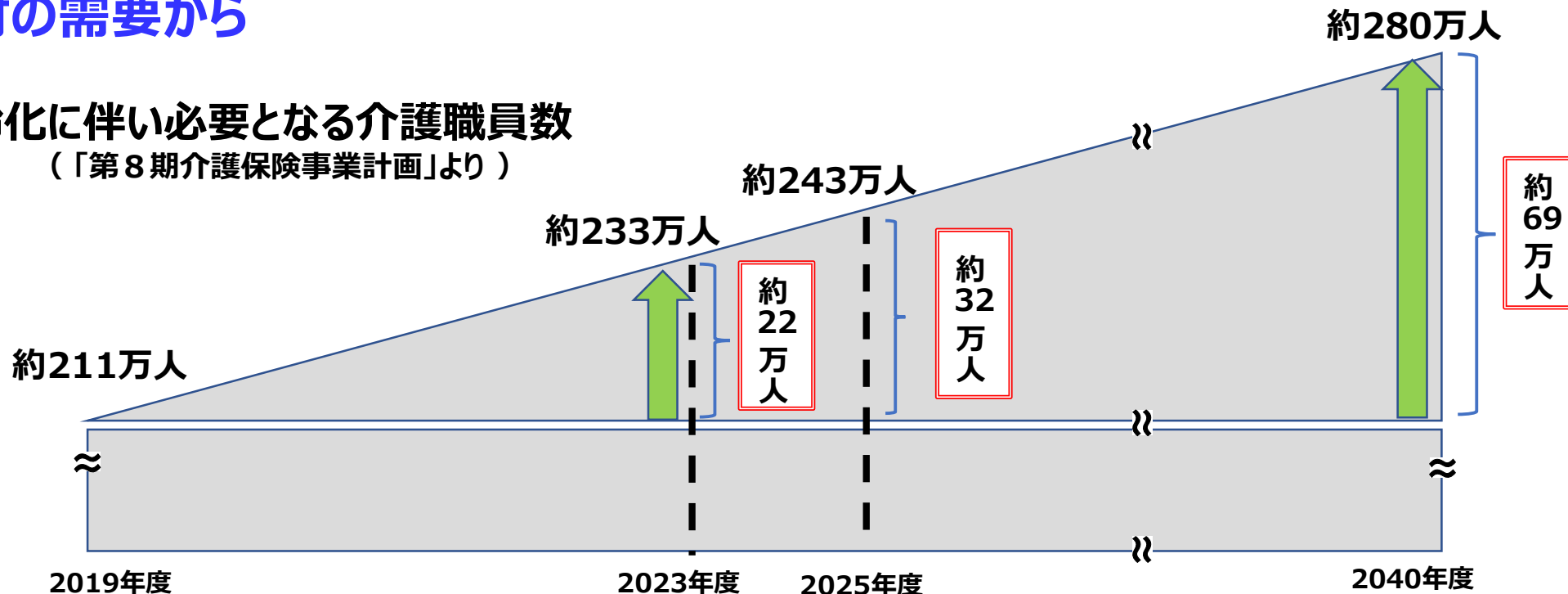


**介護業界としての需要は確実に拡大。**

# 1 介護業界・介護職の将来性

## ② 人材の需要から

高齢化に伴い必要となる介護職員数  
 (「第8期介護保険事業計画」より)



都道府県	2019年度の 介護職員数	2023年度 (令和5年度)		2025年度 (令和7年度)		2040年度 (令和22年度)	
		必要数	現状維持シナリオ による介護職員数	必要数	現状維持シナリオ による介護職員数	必要数	現状維持シナリオ による介護職員数
愛知県	103,563	111,987	106,573	121,007	107,637	140,940	106,368
全国	2,105,855	2,328,460	2,182,387	2,426,079	2,205,248	2,802,578	2,153,892

増大する人員需要・介護事業者（施設）数に対して  
 求職者数が追いつかず、高い求人倍率が続いている。



・業界として、中長期的に「人材確保」が重要課題  
 ・就職する側には有利

# 1 介護業界・介護職の将来性

## ③ 政策面から

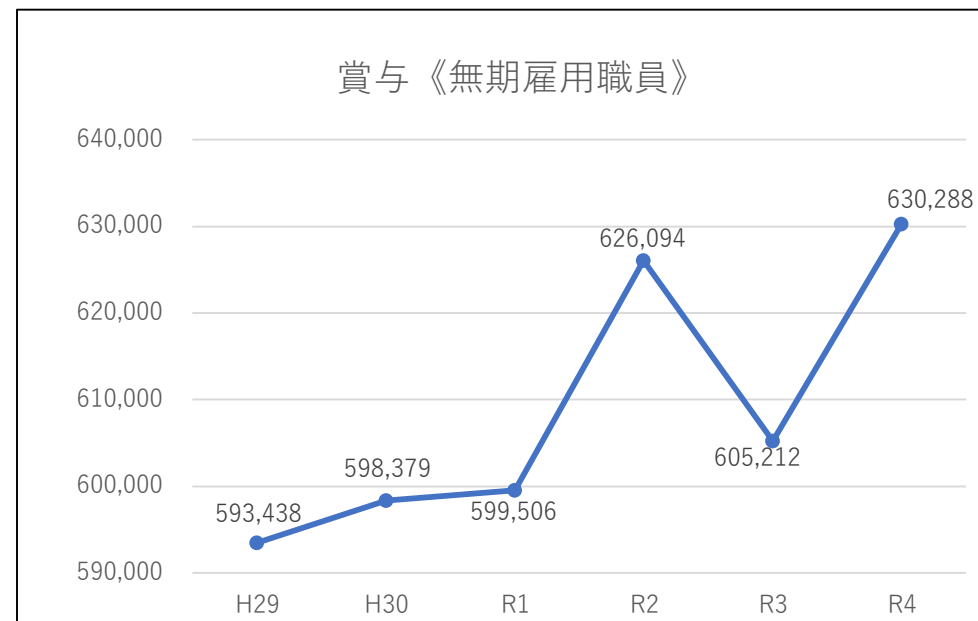
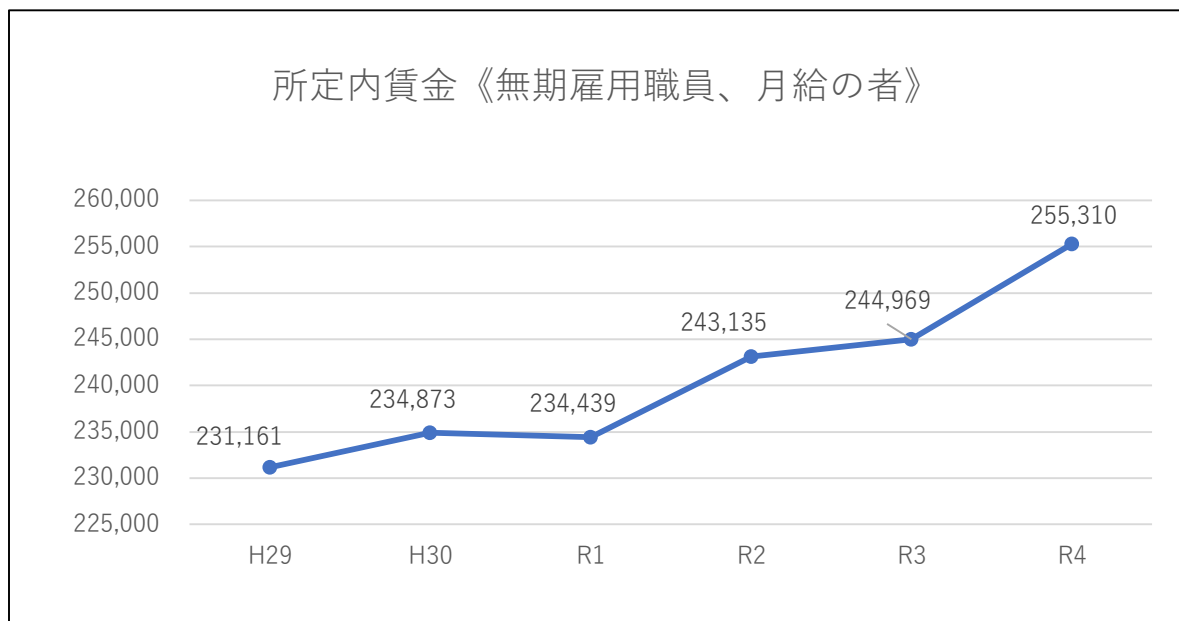
介護職の給料は、他の産業と比べて低いと言われてきた。

⇒この数年、**介護分野への人材確保策のため、処遇の改善が大きく進んできている。**

例えば、**介護職員処遇改善加算**（2012年4月～）

・ **介護職員等特定処遇改善加算**（2019年10月～）

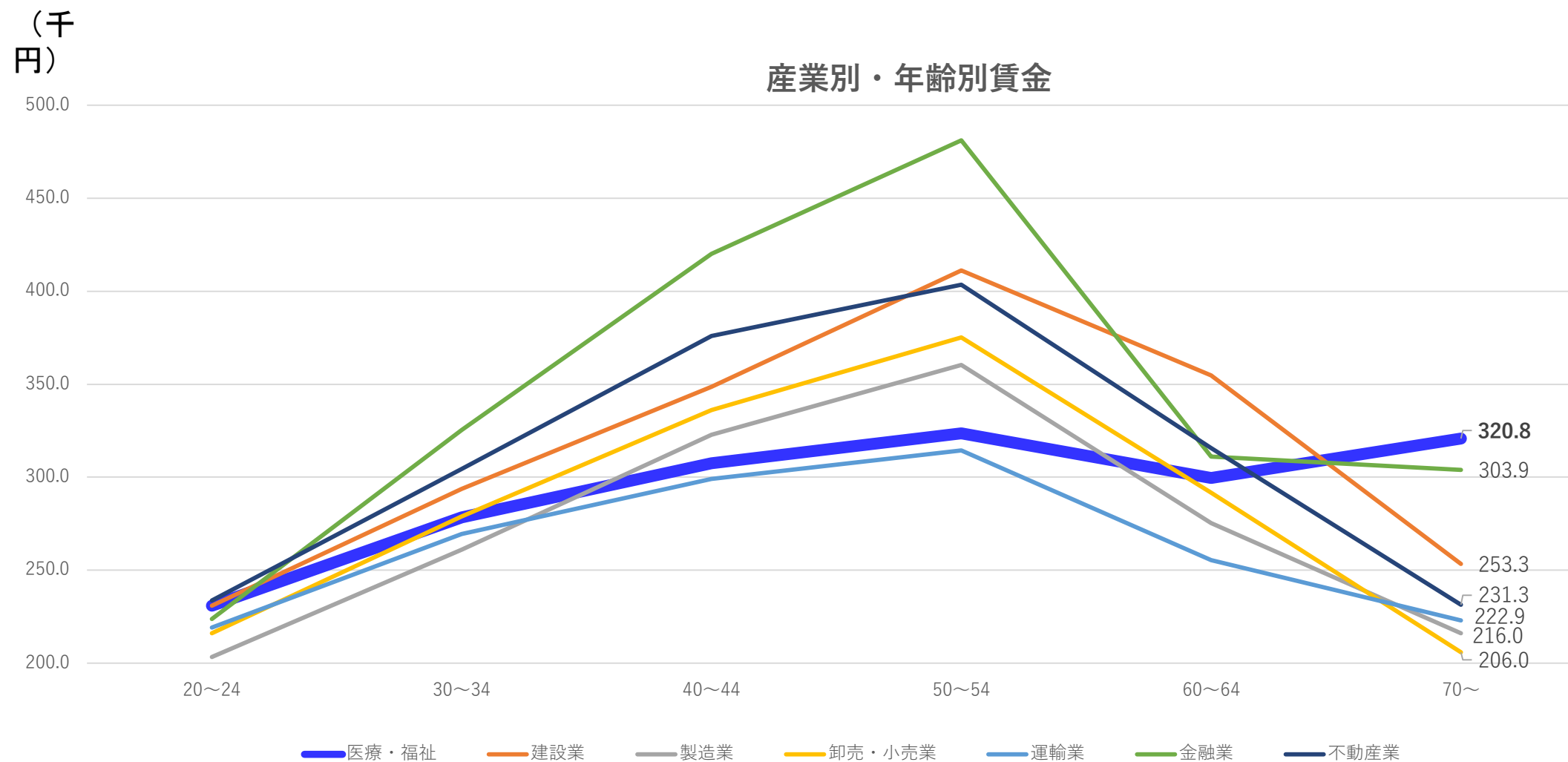
・ **介護職員等ベースアップ等支援加算**(2022年10月～)



(資料) 介護労働安定センター「令和4年度介護労働実態調査」

# 1 介護業界・介護職の将来性

## 令和4年賃金構造基本統計調査（厚生労働省・抜粋）



## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ① 介護保険サービスの主な原資は公的保険

一般的に、（高齢者）介護サービスの原資は、（本人負担分を除いて）主に介護保険から拠出される。

#### 【介護保険で受けられるサービス】

##### 介護保険制度

65歳以上の高齢者または40～64歳の特定疾病患者のうち  
介護が必要になった人を社会全体で支える仕組み

居宅介護支援



住宅改修



居宅サービス



福祉用具に関するサービス



施設サービス



地域密着型サービス



- **居宅サービス（自宅で生活しながら利用）**  
介護が必要な方が自宅で生活しながら利用できるサービス。
  - ・施設に通って利用するサービス
  - ・自宅で利用するサービス
  - ・通いと訪問と泊まりの複合サービス
- **施設サービス（施設に入所）**  
住みながら利用するサービス。
- **地域密着型サービス**  
地域住民に対して提供しているサービス。  
（住民票のある市町村の人だけ利用可）

## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ② 介護事業所の種類（主なもの）

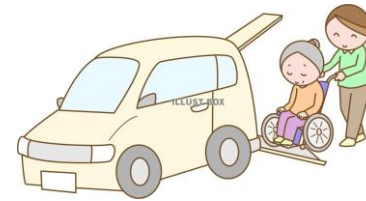
#### ● 居宅サービス（＝自宅で生活をしながら利用）

##### ① 通所介護（通称：デイサービス）

日中、体操やレク、食事や入浴などを利用するサービス。

自宅までの送迎付きの事業所が多い。

短時間リハビリ特化型や、カジノ風など、近年バリエーションが多様化している。



##### ② 短期入所生活介護（通称：ショートステイ）

介護者家族の用事やレスパイトなど一時的に宿泊するサービス。

宿泊中は体操やレクなどの楽しみや、食事やお風呂、排泄など必要な介護を受けられる。

##### ③ 訪問介護

介護職の人が自宅を訪問しサービスを提供する。入浴支援、食事、排泄などの身体介護と調理、洗濯、掃除などの生活援助がある。



##### ④ 小規模多機能型居宅介護

通い、泊まり、訪問を一つの事業所で一体的に提供する。

顔なじみのスタッフからサービスを受けることができる。



## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ② 介護事業所の種類（主なもの）

#### ● 施設サービス（施設に入所）

##### ① 介護老人福祉施設(通称：特養)

自宅での生活が困難の方(原則要介護3以上)を対象にした入所施設。  
以前はよく「終の棲家」と言われていた。入所待ち（待機）がある施設が多い。

##### ② 介護老人保健施設(通称：老健)

要介護1以上の方が対象。リハビリを行い、自宅に戻って生活することを目的にした  
（病院と自宅を繋ぐ中間）入所施設。常勤医師がおり、投薬や処置など医療的な  
面でに心強い。

##### ③ 介護付有料老人ホーム

介護が必要な方向けの施設なので、原則元気な方は入居不可。介護度が重くても対応できる  
ところが多い。

##### ④ グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

認知症のある方が少人数の家庭的な環境で共同生活を営みながら、生活をする施設。

##### ・ サービス付き高齢者向け住宅（通称：サ高住）

比較的自立度の高い方を対象とした賃貸住宅。訪問介護やデイサービスを併設したものが増加。



## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ③ 介護事業所での業務 デイサービスの例

機能訓練を実施するところもある。  
作業療法士や理学療法士などがある場合も。

バイタルチェック  
(体温、脈拍、血圧など)

着替えや薬などの持ち物、連絡帳への**家族からの伝達事項**など

専任ドライバーがいるところもある

スタッフ全体で一日の業務を振り返り。利用者の様子やその日に発生したことなど、**報告事項**をスタッフ間で共有。

入浴の介助

食事の配膳・介助



ご利用者の好みに合わせたレクリエーションを行う。**歌、体操、やクラブ活動(調理や工作)**などを実施することもある。介護職員が日替わりで内容を考えることもあり。

これらの業務の合間に、

- ・排泄介助、オムツ交換
- ・連絡帳の記入
- ・介護記録の記入(入力)
- ・利用者の見守り
- ・施設内清掃、洗濯

など実施

※時間や詳細は施設によって異なります



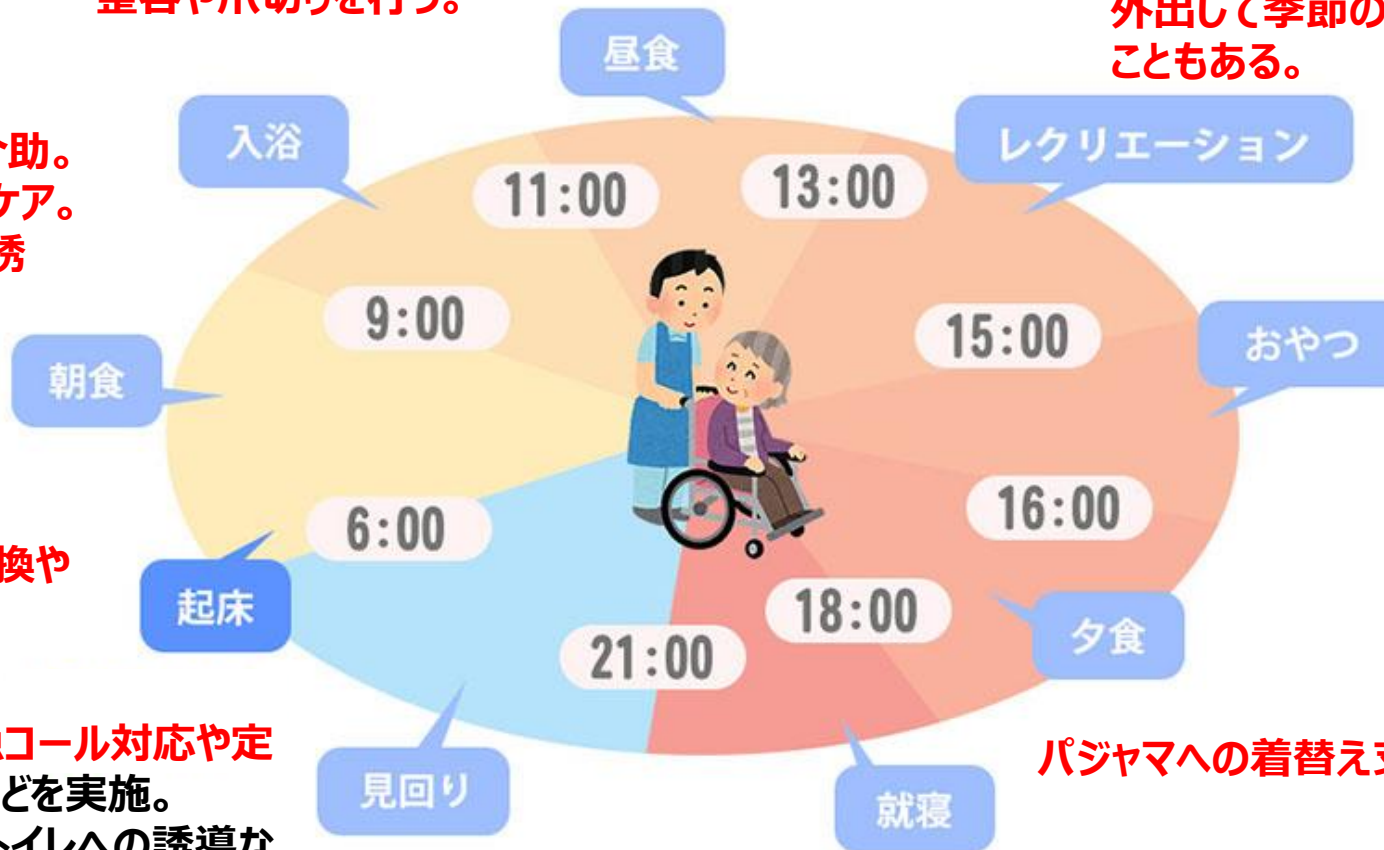
## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ③ 介護事業所での業務 特別養護老人ホームの例

入浴・着替えの介助  
整容や爪切りを行う。

機能訓練やボランティア講師や地域住民との交流もあり。  
外出して季節の花を見たり、食事に行くこともある。

配膳、食事・服薬の介助。  
食事後は下膳、口腔ケア。  
必要に応じてトイレへ誘導。



顔をふき、おむつ交換や  
着替えの介助

ご利用者と一緒におやつづくりを  
行うこともある。

- これらの業務の合間に、
- ・介護記録の記入（入力）
  - ・施設内清掃、洗濯
  - ・移動支援
  - ・おむつ交換
  - ・トイレ誘導
- などを実施

夜間帯は緊急コール対応や定期的な巡回などを実施。  
オムツ交換やトイレへの誘導などにも対応。必要事項をカルテ記録に残す。

パジャマへの着替え支援

※時間や詳細は施設によって異なります  
例) 早番：6時～15時、遅番：12時～21時、夜勤：21時～6時 など

勤務時間が多様なため、自分にあった勤務形態を選択できる可能性も

## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ③ 介護事業所での業務 訪問介護の例

- ・1日に数件、利用者宅を訪問。訪問件数によって1日の業務時間が変わることも。
- ・業務を始める前にはご利用者にサービスの説明と確認を行い、承諾を得てから業務に入る。



利用者の自宅にて、各宅のニーズに応じて、身体介護や生活援助を行う。

たとえば、

- ・入浴介助（バイタルチェック）
- ・着替えの手伝い
- ・食事介助
- ・排泄介助
- ・歩行介助
- ・掃除、洗濯、布団干し
- ・買い物、食事準備

など実施

また、訪問ごとの介護記録の記入（入力）も行う。

※時間や詳細は事業所によって異なります

## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### 高齢者分野以外で介護職員が活躍している現場

- **病院などの医療機関**

「看護助手」「補助看」と呼ばれることが多い。看護師をサポートするため、患者さんの食事介助や排泄介助、病室の清掃やシーツ交換などを行う。



- **障がい者支援分野**

「生活支援員」「指導員」などとして（障害者）デイサービスや障害者支援施設、就労移行支援事業所などで介護業務にあたる。



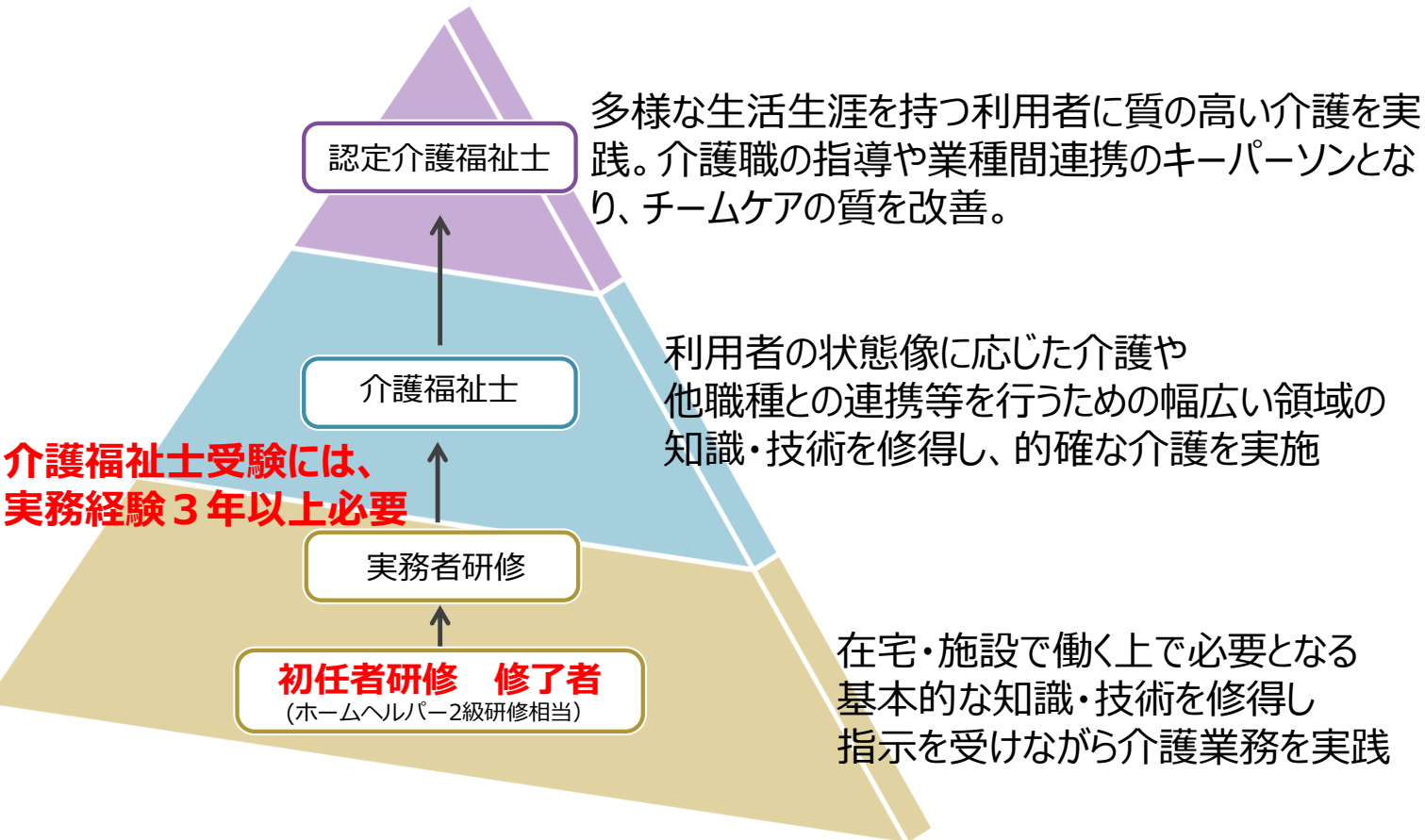
- **児童支援分野**

「介助員」「児童指導員」などとして知的障害児施設や自閉症児施設などで入所者のケアにあたる。

## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ④ 介護に関連する資格

まずは初任者研修、経験を積んで介護福祉士を目指します。  
その後、ケアマネや社会福祉士への道を行く人もいます。



#### 介護福祉士 (国家資格)



#### 介護支援専門員 (ケアマネジャー) (公的資格)



ケアプランを作成し、ケアマネジメントを行います。

#### 社会福祉士 (国家資格)



日常生活に困難を抱えている人のために、支援を行います。

## 2 介護の仕事の種類、関係する資格

### ⑤ 介護の仕事に向く人

- **人と接することが好きな人**

ご利用者に寄り添い、親身に接することが重要。

- **思いやりのある人、誰かの役に立ちたいと思っている人**

ご利用者に寄り添い、親身に接することができるかが重要。

- **素直な心を持っている人**

他者の意見に耳を傾け、行動として体現できるなど一緒に働くスタッフやご利用者・ご家族から信用を得やすい。

介護職未経験者でも、素直さがあれば成長スピードはかなり早い傾向あり。

- **協調性のある人**

介護の仕事は、他スタッフや他職種の人とうまく連携しながら、進めることが重要。企業や施設がスタッフを採用する上で、特に協調性を重視しているケースが多い。

- **オンオフの切り替えが上手な人**

利用者に寄り添うことは大切だが、あまりにも向き合いすぎると、自分自身のバランスを崩してしまう場合もあり。

- **広い視野を持っている人、気配りができる人**

利用者等の何気ない変化にいち早く気づくことができれば、トラブル回避 & もしもの時の素早く対応が可。



### 3 脱「3K」の実態、方向性

「きつい」「汚い」「危険」と言われていた介護の仕事、近年大きく変化してきている

#### ① きつい

これまで、（サービス）残業、有給休暇がとれない、などの実態が存在。

⇒ 2019年4月施行の「働き方改革」による残業時間減、有給休暇の消費義務化を機に大幅改善。  
併せて、給料アップや労働環境の改善などが進行。 ex. 「介護記録のデジタル化」「明確なキャリアパスの導入」など

#### ② 汚い

介護職に就くのであれば避けて通れない、「排泄介助」「おむつ交換」業務のイメージ。

⇒ 働いている職員の方は、「慣れるまでは抵抗があったけど、今はなんともない」（むしろ、ご利用者の体調把握には大切な仕事）という人が大半。

⇒ 施設のトイレやお風呂も広くて綺麗なところが増えてきている。

⇒ 近年、衛生面の管理（簡易手袋の使用、アルコール消毒など）が進み、「汚い」といったイメージは軽減。

#### ③ 危険

転倒などの介護事故、感染症の罹患、利用者の移動の際の腰への負担など、自身への危険が存在。

⇒ リスクを減らすため、施設内の介助バー導入、移動用の福祉用具を用意、職員配置への配慮などが進行。

介護のイメージは新たな「K」へ

希望・向上・感動・好奇心・感謝を分かち合える・心がつながるなど



### 3 脱「3K」の実態、方向性



パワーアシストスーツ



離床センサー付きベッド



スライディングボード



離床支援機能付きベッド



汚物処理機能付き洗濯機

【次世代機種外観】

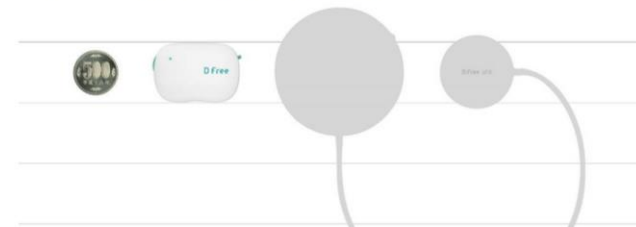
・正面

・上面



【五百円硬貨】【次世代機種】

【従来機種】



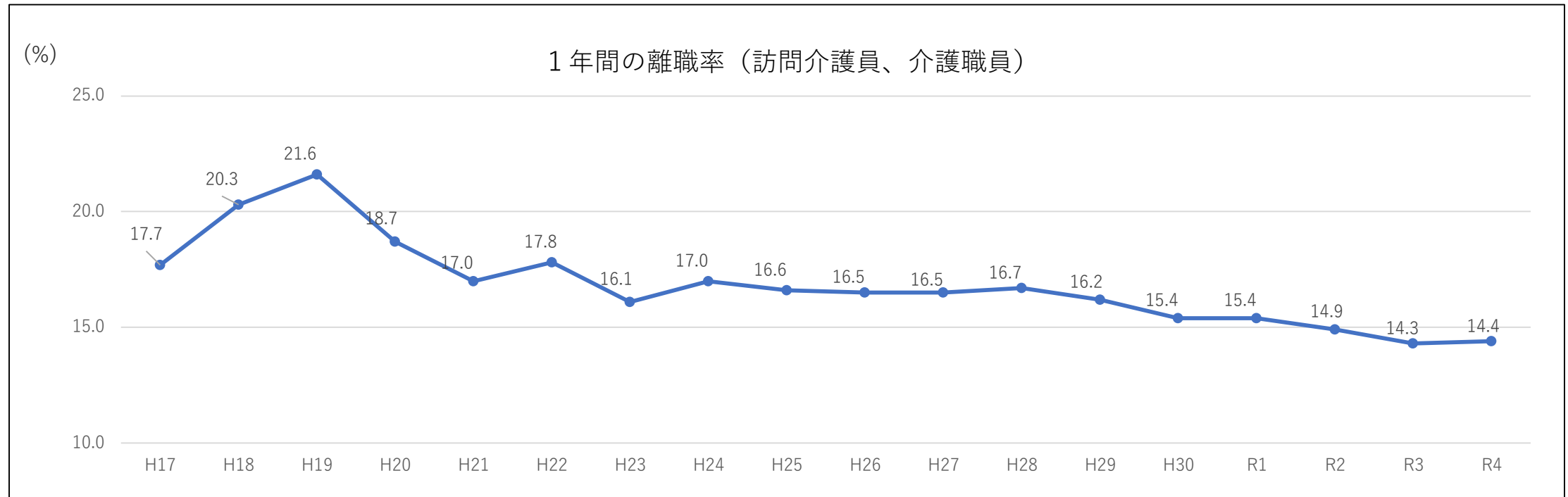
排尿予測支援機器

## 4 介護の仕事の魅力・やりがい

### 離職率は低下傾向が続く（令和4年度介護労働実態調査結果）

令和3年10月1日から令和4年9月30日までの**1年間の離職率は14.4%**であり、**全産業の15%**（厚生労働省令和4年雇用動向調査結果）を下回っている。

勤務先の就労継続では、「**今の勤務先で働きたい**」は**58.2%**で、今の勤務先での勤続意欲は高まっている。



## 4 介護の仕事の魅力・やりがい

### ① 利用者・家族からの「ありがとう」をたくさんいただける

自分は人の役に立っているんだなと実感できる仕事。  
社会貢献意識が持て、やりがいにつながる。

### ② 性別・年齢に関係なく、キャリアアップしやすい

長く現役で働きつづけることができる。自分の趣味や家事経験も活かせる。資格を取得すると確実に有利に。  
介護関係で働く職員の平均年齢は50.0歳で、7割の事業所が65歳以上の労働者を雇用している。

### ③ 安定しており、リストラや職を失うリスクが低い

もし働いている職場が事業を廃止しても、次に働く職場は見つけやすい。

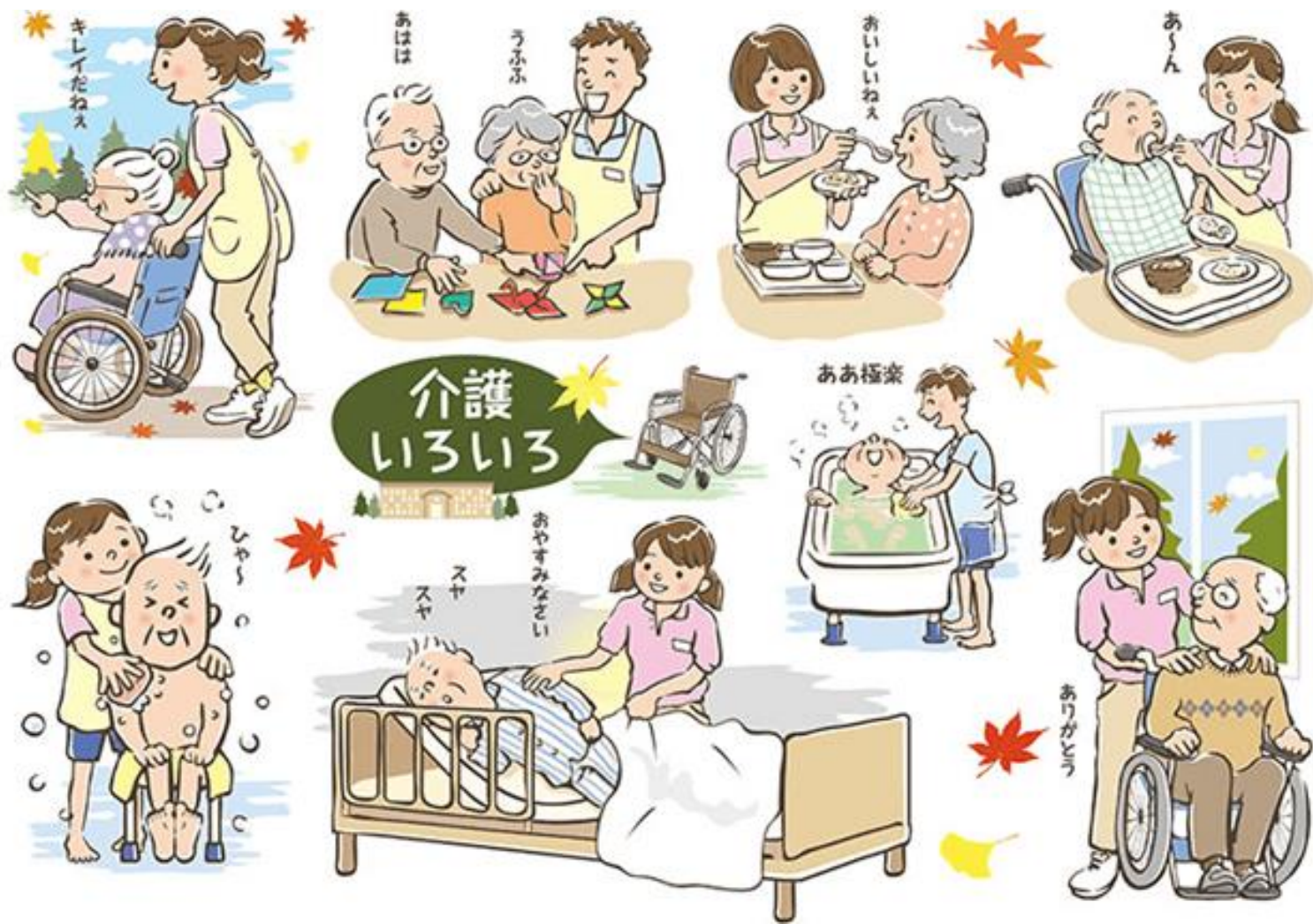
### ④ 施設の種類の多様、働き方も色々ある中から選択できる

夜勤のある施設で夜勤をすると手当がもらえる、短時間勤務で子育てとの両立など。

### ⑤ 使命感を持ち人に優しい「いい人」が多い

他産業から転職すると感じるはず。事業所内の人間関係については各所で異なる。





ご清聴、ありがとうございました。